

R2 年度 音楽科年間シラバス （第2学年）

1 授業で必要なもの

- 教科書 「中学生の音楽2・3上」（教育芸術社）, 「中学器楽 音楽のおくりもの」（教育出版）
 その他 「中学生の音楽ワークブック2・3年上」（仙台市中学校音楽教育研究会）, ファイル

2 学習計画

学期	月	主な学習内容	どのような能力を身に付けるか
1 学期	4	〈歌声をみがこう〉 ・呼吸法, 基本的な姿勢と発声	・仲間と歌う喜びを分かち合い, 音楽活動への意欲, 態度を身に付ける。 ・合唱の基礎である呼吸法や姿勢, 伸びのある発声法を身に付ける。
	5	〈合唱のよろこび〉	・基礎的な発声を生かしながら, 表情豊かな声で表現することができる。
	6	・合唱コンクールの課題曲	・パートの役割を理解し, 全体の響きに調和させて合唱することができる。
	7	・合唱コンクールの自由曲 ・復興ソング「仲間とともに」	・一つの曲に取り組みの中で表現力を身に付け, 合唱に親しむことができる。
	8	〈歌い継ごう 日本の歌〉 ・「夏の思い出」 ・「荒城の月」	・情景をイメージした表現や, 言葉の抑揚と旋律との関わりについて理解し, 歌唱表現を工夫することができる。
2 学期	9	〈旋律の重なりを楽しみながら聴こう〉 ・「フーガト短調」	・楽器や楽曲に興味を持ち, 主体的に鑑賞することができる。 ・主題を基にした複数の声部の重なり方を理解し, 多声的な音楽の面白さを味わうことができる。
	10	〈日本の伝統音楽〉 ・篠笛（特別非常勤講師による授業） ・日本の郷土芸能	・篠笛の基本的な奏法を身に付け, 独特な響きを味わいながら, 簡単な曲を演奏することができる。 ・日本の代表的な郷土芸能に触れるとともに, 秋保地区に伝わる芸能に親しみ, その特徴を感じ取ることができる。
	11	〈オーケストラやオペラに親しもう〉 ・「交響曲第5番 第1楽章」 ・オペラ「アイダ」	・オーケストラの響き, 要素や構造と曲想との関わりを理解し, 楽曲のよさや美しさを味わうことができる。 ・物語の内容に応じた旋律やオーケストラの響き, 強弱や速度など, 音楽の表現の変化について感じ取ることができる。
	12	〈日本の伝統音楽〉 1 ・箏「荒城の月」 ・平調子によるメロディー創作 ・歌舞伎, 文楽	・箏の基礎的な奏法を身に付け, 平調子の響きを味わいながら箏曲を演奏することができる。 ・平調子で簡単な旋律をつくることができる。 ・日本の総合芸術として親しまれてきた芸能に関心を持ち, その特徴やよさについて批評することができる。
	2 3	〈合唱のよろこび〉 ・予餞式の合唱	・3年生を送り出す下級生としての気持ちや, お世話になった人への感謝の気持ちを歌で伝えることができる。

3 評価の観点と評価の場面

評価の観点	評価の場面
関心・意欲・態度	授業の様子, 提出物, ワークシート, 定期考査
表現の創意工夫	授業の様子, ワークシート
表現の技能	実技の観察, 実技テスト
鑑賞の能力	授業の様子, ワークシート